



東川園長ごあいさつ ~ 卒園を迎えるみなさんへ ~

卒園を迎えるみなさんへ。
もうすぐ卒園の日ですね。一人ひとりが、それぞれのペースで成長してきた姿を、私たちはうれしく思っています。園での経験や出会い、ご家庭で積み重ねてこられた日々は、これからの歩みを支える大切な土台です。

これからも、安心できる人や場所とつながりながら、自分らしく過ごし、心身ともに健やかに歩いていってください。一人ひとりの **well-being (その人らしい幸せと健やかさ)** が大切にされる毎日となることを願い、みなさんの未来を心から応援しています。保護者の皆さまにおかれましても、これまでの歩みに心より敬意を表します。お子さまもご家族も、それぞれに安心してその人らしく過ごせる毎日となりますよう、お祈り申し上げます。

2月21日には、**あおぞら・ゆりかごセミナー** を開催しました。基調講演では高知大学教育学部講師の **宮田賢吾先生** をお招きし、話題提供として発達障害のあるお子さんを育てておられる保護者お二人にご登壇いただきました。宮田先生からは、「こどもの安心・安全な環境を整える」をテーマに、学校の現状や課題、実践事例、家庭と学校の協働についてお話しいただきました。また、「自立とは依存先を増やすこと」という視点もご紹介いただき、多くの学びを得る機会となりました。保護者の方々からは、環境整備、夫婦の共通理解、学校との関わり、視覚支援、思春期への向き合い方など、実体験に基づくお話を伺いました。なかでも、「**子どもの幸せも、自分自身の幸せもあきらめない**」という言葉が印象的でした。今後も、家庭や関係機関と連携しながら、こどもたち一人ひとりの育ちと **well-being** を大切に支えていきたいと思っております。

お子さま一人ひとりにあった療育を ~ 保育部門一年を振り返って ~



ゆりかご園では、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5つの視点を大切にしながら、毎日の活動を楽しんでいます。活動はそれぞれをわけて行うのではなく、ひとつの遊びの中にいろいろな経験がぎゅっとなつていきます。その中で、お子さま一人ひとりの「今」の姿に合わせて関わっています。例えば、小麦粉や片栗粉、パン粉、寒天などを使った感触遊びでは、スモックを着る経験や手洗い等の生活面や、素材にそっと触れてみたり、思いきり手を伸ばしてみたりする姿。色の違いをじっくりと見つめたり、「いくつかな？」と一緒に数えてみる時間。「これがいい！」と目で知らせてくれたり、言葉や身振りで気持ちを伝えてくれたりする場面。安心して大人のそばで、お友だちと並んで楽しむひととき。そんな一つひとつの姿に、私たちはたくさんの喜びを感じています。これは日々の活動のほんの一場面です。お子さまが安心して過ごせるよう、職員同士で話し合いながら準備をし、活動後には「こんな姿があったね!(^^)!!」と振り返りを重ねています。この一年も、たくさんの笑顔や小さな成長の瞬間を、保護者の皆さまと一緒に見守ることができましたことを、心よりうれしく思います。

これからも、ゆりかご園での時間がはっとできる、あたたかな場所であり続けられるように努めてまいります。いつも温かいご理解とご協力を、本当にありがとうございます。(高松)



カナリヤ教室一年の振り返り ~ 子ども達の成長と繋がりに感動 ~



今年度も、第2、第4水曜日の午後にカナリヤ教室を開催し、毎回3~5名程度の親子に参加していただきました。カナリヤ教室では、始まりの会から始まり、お口の体操や足裏マッサージ、ピアノの音に合わせたリズム体操など、一年を通して同じ流れの中でプログラムの内容に少しずつ変化をつけながら行われました。

最初の頃は、恥ずかしそうにしていたお子さんも定期的に通うことで教室の雰囲気や職員にも慣れ、お友だちも意識できるようになり、積極的に活動に参加していく姿が見られるようになりました。また、昨年度から引き続き参加してくれているお子さんたちは、プログラムの流れも理解し、新しく入ったお友だちにも一緒に楽しもうとする姿を見せてくれて、遊びの中に誘い込んでくれているようでした。

私は、今年度に初めて携わらせていただいたのですが、このカナリヤ教室の中でお子さん同士の交流や保護者さま同士の繋がりが見られ、教室の温かい雰囲気に感動しておりました。また、その中でお子様たちの成長を、職員一同、共に見守らせていただけたことを大変嬉しく思っております。来年度においても、参加して下さる方々にとって魅力的な教室であり、素敵な出会いの場ともなることを心より願っております。(城野)

ゆりかご農園 ~ 皆でいちごを植えましたおおきな一れ ~



いちごくんは丈夫で見た目も可愛く、それでいて美味しい、だれからも愛され続けるくだもの。実は意外と苦労人なのしかったです？まずは寒い寒い冬の寒さにさらされると美味しくなりません。また、その鮮やかな色や匂いからまわりからたくさんの虫さんや鳥さんに狙われてしまいます。だからいちごくんがいくら丈夫とはいえ、みんなでたいせつに見守ってあげないといけないのです。

いちごは露地栽培、プランター栽培、ハウス栽培という栽培方法がありますがゆりかご園では中でももっとも自然に近い形の露地栽培を始めました。初めての試みなのでみんなで協力してがんばっています。寒い中での苗植え、水遣り。みんな笑顔のなかにも真剣にがんばっています。自分の腕の半分くらいもあるスコップで苗を植えるところの穴掘りをしっかり手元を見ながらがんばりました。

さあ、5月の収穫をめざし、がんばるぞ~ おお~
※ 今年30株植えました、一応植えた苗には名前を付していますが、ALLゆりかごでみんなで育てたいと思います。(北井)

保護者学習会 ~ ☆ 家族の未来をより良く ☆ ~

1/28(水)、1/29(木)の通園の時に合わせて、「障害福祉サービス」についての勉強会を開催しました。事前に質問を頂いており、ご家族がよりよい生活を送りたいという強い思いがひしひしと伝わっていました。児童通所サービスや障害福祉サービスの違いや居宅介護、短期入所といったサービスとはどんなときに利用できるのか等をお話しました。ご家族からは、利用できるサービスや資源がどんなのがあるのか聞いてよかったという安心の声や、少し難しかったけどまた話を聞かせてほしい、はっきりと理解されたいという思いを伺う事ができました。私自身、今回の勉強会の担当になって様々な事を勉強することができ、これからもお子さまだけでなくご家族の気持ちに寄り添い、みなさまに合ったサービス等のよりよい資源を案内できるようにしていきます。ご家族・社会の一員として主体的に生きていくという想いを繋げられるよう努めてまいります。(藤本)



セラピストによる合同療育始めました!!

2月より、第1週の月曜日、水曜日の月2回セラピストによる合同療育を始めました。
【聞く】【座る】をベースに【遊ぶ】は参加メンバーによって変わっています。【聞く】は、絵本を見て聞く、カードを聞いて取る時間、【座る】は、机上課題の時間で、名前が呼ばれ自分で机上課題を取りに行き着席し個々の課題にあわせて取り組んでいます。【遊ぶ】の魔法のじゅうたんは、職員が持っている絵と同じ絵のマットに行き、みんなでマットにのって大人が引っ張ります。マットに貼っている写真と職員が提示した写真をマッチングさせる活動になっています。マッチング後はマットで楽しく遊びました。

始まりと終わりの際は、座る場所に本人の写真を貼り自主的に座れるように取り組んでいます。机上課題では、名前を呼ばれる事に期待感を持って待つ様子も見られ終始楽しそうに参加する様子が見られました。(柳瀬)

